





















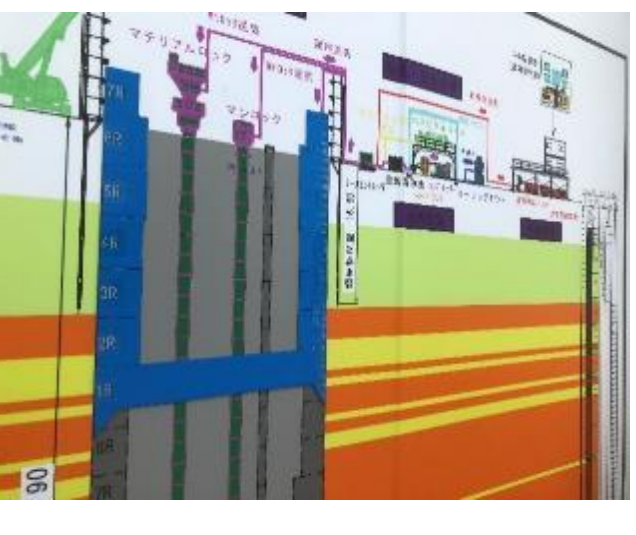
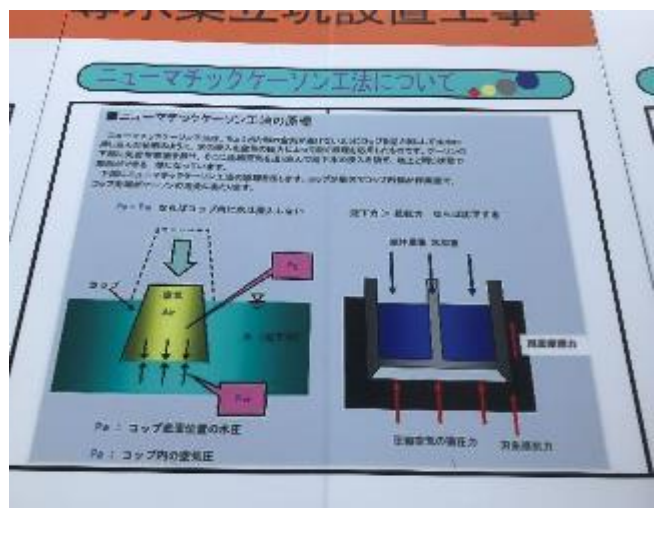

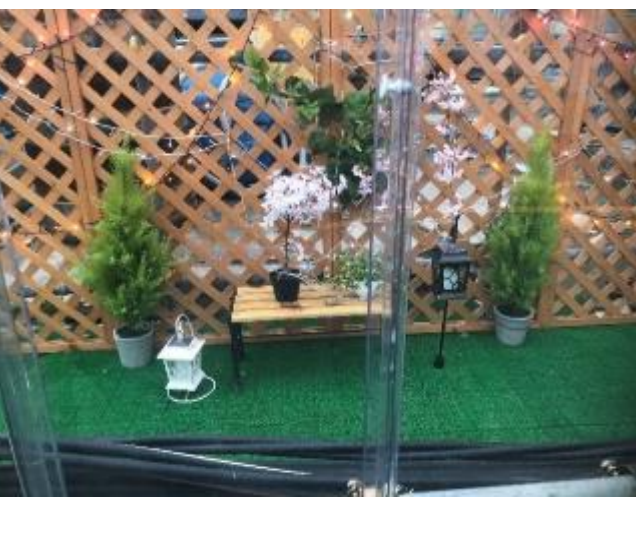
















受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
アクアインテック株式会社	みやぎ水再生センター 雨水ポンプ棟沈砂池機械設備工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)		<p>①毎月実施している安全大会の際に、安全に対し特に優秀な作業員を表彰することで、現場の安全意識、モチベーションの向上に繋がった。また、協力会社とその内容を共有していく中で、現場のコミュニケーションが増え、より安全な作業環境を整えられた。</p> <p>②作業員全員にVRを活用した墜落・転落事故を体験してもらい、事故の恐怖を知ること、自発的に安全対策を強化し、安全意識が向上したことで、作業をより安全に行った。</p> <p>③地下階、池内での作業が多かった本現場では、湿度が高く、熱中症への危険性が高かった。熱中症対策として、熱中飴、汗取りバンドの配布を行った。また、日々の疲労回復、初夏に暑熱順化が十分行えるよう、入浴剤等を配布した。</p> <p>④池内への昇降が多い本現場では、昇降用タラップ周辺の開口部等にも追加で滑り止めを施し、より安全な昇降設備を設置した。</p>				
石川徳建設株式会社	墨田区東向島二丁目、京島一丁目付近再構築その3工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	<p>地元の方々及び民間施設、駅、商業施設をご利用する方々へ下水道工事の内容及び工事範囲についてご理解していただくため、工法説明及び工事範囲を記載した広報板及びポスターを作成した。</p>	<p>地元の住民や通行する方々に工事の内容を理解してもらうよう大きい看板を工事場所に設置した。また、最寄り駅や近く郵便局に工事内容のポスターを掲示して多くの住民の方に工事に対して理解してもらうよう取り組んだ。</p>				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	<p>夏季の熱中症対策や作業員等の休憩場所を確保し、作業員の安全確保と作業環境の向上を図った。</p>	<p>現場内の駐車場内に「休憩カー」を設置し、熱中症の予防や休憩のため作業員や誘導員が自由に利用できるようにした。</p> <p>工事付近の土地を借用してクーラーテントを設置し、その中にスポットクーラーやパイプ椅子置いて涼空間の中で休憩ができるようにした。</p>				
株式会社大本組	三之橋雨水調整池建設その4工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	<p>近隣の小・中学校に協力頂き、児童、生徒等の絵画作品を外周の歩道に面した仮囲いに掲示した。</p>	<p>絵画を一枚ずつ写真撮影したデータをレイアウトし、アルミ複合板に張付けすることで、高解像度で見やすく掲示した。これまで、フラットパネルの殺風景な風景が、地元の小・中学校の生徒の絵画で賑やかになった。</p>				
株式会社 大盛工業	江東区大島七丁目付近再構築その2工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	<p>施工エリアの道路をきれいにゴミが落ちていない状態を保つために「みちび力運動」を行った。</p>	<p>この活動を地域の皆様に知っていただくようり立てて「みちび力運動」を実施し、通行中のお客さまにポケットティッシュを配ったりして取り組んだ。また、ポイントカードを作成し張合いをもって地域の美化運動に取り組めるようにした。</p>				

受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
株式会社奥村組	八王子水再生センター放流渠耐震補強その2工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	朝礼広場に作業員が一同に見ることができ、大画面の電光掲示板「デジタルサイネージ」(縦1537×横2306mm)を設置	朝礼時にラジオ体操の動画を大画面で流すことにより、慣れていない外国人技能実習生でも分かりやすく行うことができた。また、タブレット等の画面をそのまま映し出す機能があり、 多数の作業員に向けて周知事項がある場合に有効活用 できた。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	職員及び現場作業員を対象とした、死亡災害要因の上位を占める約10の事故事例をリアルに体感できる、VRゴーグルを用いた安全教育を実施	高所墜落のみならず、 重機接触・巻き込み、土砂崩壊などの「建設業の三大災害」を含む、建設業界における死亡災害要因の上位を占める約10の事故事例を、被災者の視点でリアルに体感 できた。いずれの事例も、死につながる危険作業による被災者の視点が再現されているだけでなく、なぜ事故が起きたかの検証や再発防止策の教育まで盛り込まれた内容であるため、効率良く個々の危機意識、安全意識が向上し、事故の未然防止に寄与した。				
熊谷工業株式会社	豊島区長崎三丁目付近外孔上部補修工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	小学校、幼稚園の子供たちが通行するエリアであり、狭小道路であったため、 下水道局キャラクターのアースくんをデザインした歩行者マット を採用した。	従来の工事現場のイメージを払拭し、明るく親しみのある工事現場を目指すと共に、狭い道路での第三者災害を防止できる安全通路の確保を目的とした。				
五洋建設株式会社	足立区千住緑町一、二丁目付近再構築その2工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	工事情報看板及び下水道事業ポスターの設置	足立区立千住スポーツ公園の一部をお借りして工事を行っているため、 公園利用者や沿道住民に対して、下水道局としての取組(浸水対策)及び工事による周辺住民への効果(浸水被害の軽減)をアピールするための広報版を設置した。				
三機工業株式会社	浅川水再生センター汚泥脱水設備再構築その3工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	屋内及び屋外にある 複数の作業箇所ごとに休憩エリアを整備(作業の進捗に伴って休憩エリアも移動)	現場詰所とは別に、屋内及び屋外にある複数の作業箇所ごとに休憩エリアを設けることで、現場作業中の作業員がわざわざ現場詰所まで戻らなくても、すぐに休める環境を整えた。また、ウォーターサーバー、経口補水液、紙コップ等を用意し、誰でもすぐに冷たい水分及び塩分補給ができるようにした。				
三立工事株式会社	新河岸水再生センター第一沈殿池制水扉設備改良工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	工事期間、沈殿池槽の覆蓋を開放するので、槽外に臭気が漏れないように臭気対策を行った。	導水渠内及び第一沈殿池槽内から漏れる臭気対策として、 槽内作業時は消臭剤を噴霧し、槽内に入る仮設昇降設備はシートで覆い、槽内換気の排気は別の槽内に排気して、臭気対策を行った。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	槽内(地下作業場所)からの避難ルートを2カ所設置	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難ルートを2カ所設置する事で、2方向への避難が可能になった。実際に災害が起こったときは、避難する作業員が1カ所に集中して二次災害が発生する恐れを防止する効果も発揮された。 作業場所に避難ルートを指示する表示を見やすい位置に取付、作業員への『見える化』を行った。 				




受注者	工事内容	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
有限会社 茂山工務店	墨田区東駒形三丁目、吾妻橋二丁目付近再構築工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	現場周辺の住民の皆様へ親しみを持っていただき、工事についてのご理解とご協力をいただけるよう内容を工夫して「広報懸垂幕」を設置した。	<ul style="list-style-type: none"> 下水道再構築工事をPRするために、家族をイメージしたイラストと表題を掲げて将来の清潔で快適な暮らしのための工事であることを表現した。 再構築工事の必要性を理解して頂くために、この地域の下水道施設が敷設された主な年代を説明の文章に入れた。 				
正和興業株式会社	江東区千石二丁目、千田付近再構築工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	<ol style="list-style-type: none"> ①バッテリーシステムのTVカメラ調査車を使用 ②LED電光盤、バルーンライトの設置 ③リチウムイオンバッテリーを使用 ④PR用紙に環境配慮の取り組み内容を記載した。 	リチウムイオンバッテリーの使用により、 発電による騒音や振動の削減、照明や電光盤にLEDライトの使用することによりCO2の削減等環境に配慮 した取り組みをした。				
	品川区北品川四、五丁目付近再構築工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	<ol style="list-style-type: none"> ①工事全体図の看板を設置。 ②施工箇所に番号をマーキングし、PR用紙に番号と施工日程を記載し配布した。 	お客さまが、通行時に目にしたマーキング番号とPR用紙で、より工事情報を身近に感じて頂けるようにした。				
株式会社仲幸	港区虎ノ門三丁目、愛宕一丁目付近再構築工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	<ol style="list-style-type: none"> ①低圧電気取扱業務特別教育を実施 ②心肺蘇生講習会の開催 ③AED・救急箱を現場に常設 	<ol style="list-style-type: none"> ①発電機などの低電圧機器を使用する現場であるので、関東電気保安協会に講義を依頼し、作業員全員に対して低圧電気取扱業務特別教育を受講させた。 ②作業員に高齢者が多かったこともあり、緊急時に現場内で相互扶助ができるよう警備会社協力のもと心肺蘇生講習会を開催した。 ③過去に現場付近で体調を崩された方を現場内に常設していたAEDで救命したことがあったので、当現場でも地域貢献の一助となるようAED及び救急箱を現場に常設した。 				
大成・奥村・鉄建建設 共同企業体 【構成員】 大成建設株式会社 株式会社奥村組 鉄建建設株式会社	京成線連続立体交差事業に伴う葛飾区立石四、七丁目付近管渠改良その4工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	<ol style="list-style-type: none"> ①仮囲いに地域住民から提供頂いた周辺の思い出写真を掲示 ②エコキャップ運動に参加し、仮囲いに回収ボックスを設置 ③夏季イベントとして「打ち水大作戦」を実施 	施工箇所が商業地、住宅地に隣接しており、且つ、京成立石駅沿いの工事であったため、人通りが多く大変目立つ現場であり、地先住民の方には騒音・振動で少なからずご迷惑をおかけしていた。そこで、多少なりとも工事のイメージアップに繋がればとの思いで地域への配慮として、特に地域住民との繋がりを意識した取り組みとした。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	重機と作業員の接触事故防止のための設備を導入	施工箇所が京成立石駅沿いの非常に限られたスペースでの工事であったため、作業エリアが狭隘で重機作業時に重機と作業員との接触事故の危険性が高かった。そこで、 重機と作業員の接触事故防止のための人感センサーを導入し作業員の安全確保に努めた。				

受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
東信工業株式会社	三河島水再生センター放流渠吐口及び藍染ポンプ所耐震補強工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	本工事は、下水道局の敷地内での工事で普段一般の人が立ち入れない場所での施工であるため、作業状況や、工事についての紹介を行った。	多くの人に下水道工事について知っていただくためにSNS (InstagramやTwitter) にて工事の紹介を行った。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	<ul style="list-style-type: none"> ①現場事務所及び休憩所について、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」の観点から3密を避けるため使用予定人数より余裕のある大きさを採用し、設置 ②施工エリアの携帯電話の電波状況が非常に悪く連絡体制に支障をきたしていたので、電波状況の改善等を実施 ③スマートグラスの使用による安全管理及び施工管理 ④作業動線の照度の確保 ⑤重量物の搬入搬出時の作業環境改善 ⑥開口部からの墜落、落下防止対策 ⑦手摺付階段の設置及び昇降スパンの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ①こまめに手洗いができるように現場事務所まで給水管を配管し新型コロナウイルス感染防止対策手洗場と本工事従事者のみを使用する水洗トイレを現場事務所と休憩所に各1基ずつ設置した。 ②携帯電話キャリアに相談し、増設アンテナを藍染ポンプ所の本工事従事者出入口と開口部上部に設置することにより電波状況を改善させた。 ③現場従事者がウェアラブルカメラとARグラスが一体化したスマートグラスを取り付けることにより、現場事務所や本社と同時に複数端末での情報共有が可能になり、安全管理や施工管理の面から施工環境を改善させることができた。 ④放流渠吐口の施工箇所までは、調圧水櫃の開口部より入場し約50mの距離があり、放流渠内は光が届かないので現場従事者が安全に通行できるようにLEDチューブライトを設置した。 ⑤重量物の廃材等の搬出及び仮設材の搬入の作業の運搬方法について現状では人力で開口部下まで運搬するしかなく、現場従事者の安全、施工性を向上させるために仮設レール製作して設置した。 ⑥既設開口部の上部に仮設の作業床を設置及び施工エリア外には、柵を設置することにより作業通路を明確化させた。 ⑦昇降用のタラップが設置されていたが、1日に複数回昇降するため安全に昇降できるように手摺付階段を設置した。また、雨水ポンプ井は水没しないフラットな面が無かったので、道具や資材を仮置きできるように作業床を設置した。昇降専用の定場を設置し、タラップの位置を一定方向にせず千鳥に設置することにより、昇降スパンを短く(1段あたり1.7m)する事が出来た。 				
飛鳥建設株式会社	芝浦水再生センター導水渠立坑設置工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	第三者が閲覧できる仮囲いに、ニューマチックケーソン工法の工事概要広報板を設置し、現在の進捗やケーソンの掘削深度も分かるよう写真とマグネットで表現した。	ニューマチックケーソン工法の原理や施工方法について、一般の方に分かりやすい様に、身近な原理に例えて(逆さにしたコップ)説明している。				
		(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	仮囲いコーナー部のクリアパネル区間に、季節やイベントとリンクしたイメージアップ空間“芝浦テラス”を設けた。	工事現場の閉塞的なイメージを払拭するとともに、周辺環境と調和し、特に親子連れの方々が立ち止まり微笑むようなお洒落なテラス空間を意識して計画した。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	減圧停止のために長時間(3時間程度)滞在する「マンロック」内の温度を低下させるため、スプリンクラーを設置し、常時散水することでマンロック内の温度を下げるシステムを考案した。	マンロック内で、減圧停止中の作業員が熱中症になるのを防止するため、園芸用のスプリンクラーから常時散水し、ロック全体を冷却する装置を考案した。また、現場内にヘルメットを外して小休憩できる”レストスペース”を設けた。				

受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
日本ヒューム株式会社	北沢幹線再構築その7工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	週休2日制確保に向けて試行する「週休2日制確保モデル工事」であることを、イメージキャラクターのアースくんも添えて明るくデザインした工事看板を作業帯の前後に設置し、地域への工事の影響を最小限にすることを積極的にPRした。	工事看板設置により週休2日制を目指していることを世間に示すことで、地域住民に対する工事の影響を低減させるとともに、工事関係者の労働環境の改善を目指していることを積極的にPRした。また、管内作業のため、実際の作業を見ることができない地域住民の方々のために、施工前後の写真・施工状況・工事によるメリットを示すことで、施工内容を分かりやすく伝えた。				
		(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	住宅街での施工環境であることから、裏込め材充填作業時にモルタル飛散防止のため、通常、防塵対策シートを設置しているが、さらなる飛散防止のため集塵機を設置し、周辺への影響を最小限にするよう努めた。	①地域住民への配慮のため、裏込め材充填作業時に通常、設置している防塵対策シートに加え、集塵機を設置し、周辺へのモルタル飛散防止対策を実施した。 ②施工地域は駅への通勤・通学路となっており、通行される方も多く、現場となっている道路を気持ちよく通行していただくために、毎週1回現場周辺道路の清掃活動を行った。				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	高温多湿の管内作業が主体の工事のため、コロナ禍もあり作業員の体調不良に万全を期すため、現場に一年を通して健康管理グッズを常備した。	コロナ禍もあり、現場に一年を通して健康管理グッズを常備し、細目に水分補給と塩分補給が取れる環境を用意するとともに、利用を促した。				

受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④	
日本ノーディングテクノロジー株式会社	北区東十条一、二丁目付近再構築工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	生体管理による熱中症対策	腕時計型生体管理による作業従事者のリアルタイム体温管理した (熱中症リスクの低減)。 AIによるリスク判断により、事前にリスク回避が可能であることと、リスク判断の評価軸として、測定した体温だけでなく、「暑さによる負担」及び「作業の負担」を採用し、より適切な対応や判断が可能となった。					
		(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	移動式 (工事車両荷台) 工法案内掲示物を設置して、下水道工事についてPRを行った。	お客さまに工事の内容や必要性を理解していただくため、 工事車両に掲示できるコンパクトな工法説明を記した掲示物を設置した。					
	品川区東五反田一、三丁目付近再構築工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	誘導員が道路の迂回説明時、 口元がわかるマスク着用で丁寧に見える化案内を行った。	誘導員が歩行者、ドライバーに迂回案内を話すとき、口元が相手に見えると聞き取りやすく、顔の表情が相手にわかり丁寧な感じを与える効果があると考えた。					
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	グラインダー使用時の不注意による手の折損災害防止及びより一層安全管理に重点を置くため、耐切創手袋を協力会社へ支給し使用した。	塩ビ管を切断する際、通常軍手、ゴム手等の保護具を使用して作業しているが、この耐切創手袋は、ケブラーとステンレスワイヤーが編み込まれて刃が接触しても折損しにくい構造になっており、結果労働者の作業環境を快適にした。					
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	本管開削において、作業箇所が日々変わる現場での作業中の開口部転落防止明示として、既設舗装に削孔し独自の柵を設置・施工した。	掘削作業中に作業員が不注意で開口部に転落して被災しないように開口部柵を設置して明示した。これによって、準備作業時間の短縮につながることも、危険回避 (開口部をまたぐ行為) の抑制もあり、安全管理に役立つ取組であった。					
株式会社ノバック	蛇崩川増強幹線人孔設置工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	シールド工事の立坑用地として使用した弦巻三丁目東公園の復旧に関するアンケート付きのピラの配布と意見箱としてポストを設置し、誰もが気軽に意見を投函できるよう工夫した。	当該地区の浸水対策として、平成28年度から弦巻三丁目東公園を借用して蛇崩川増強幹線事業を行っている。長期間借用した公園について復旧案のイメージバースを近隣の皆様へ配布し広報するとともに、公園にポストを設置して要望等の意見を募集した。					

受注者	工事件名	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
松田建設工業株式会社	渋谷区富ヶ谷一丁目付近再構築工事	(1) 工事情報のPR (広報板、配布物及び掲示物など)	<p>①町会長様、商店会長様に相談を行った上で現場内に地域名入りの垂幕を掲示し、地域のイメージを向上させるとともに、下水道工事へのイメージアップについても取り組んだ。</p> <p>②工法掲示板を作成し、下水道工事の施工内容を現場に掲示することで、住民の皆様、通行人の皆様に対して下水道工事に関する各種工法の魅力をPRした。</p> <p>③下水道の材料である直管・小型桝・ソケット等の塩ビ材料で手作りしたフラワーボットを飾り、花を飾ることで華やかな現場を実現し、下水道工事に対するイメージアップを図った。</p> <p>④PR用紙は全てカラー印刷で配布し、裏面に工法紹介・施工例等説明文書を添付して、地元住民皆様への下水道工事情報のPRを実施した。</p>	<p>本工事は代々木公園駅と代々木八幡駅に近接し、富ヶ谷商店街のエリア内で再構築工事を実施したため、駅利用の乗客や商店街を訪ねるお客様で多くの通行者が現場を通過する施工環境であった。そこで塩ビ材料で手作りしたフラワーボットの設置や地域名等入りの垂幕を掲示することで、多くのお客様に下水道の仕組みや施工内容について理解していただき、下水道工事に対するイメージ向上に繋げることができた。</p>				
三菱電機株式会社	八王子水再生センター汚泥処理電気設備再構築その2工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	<p>挟まれ事故の発生を未然に防ぐため、高所作業車等に検知バーを取り付けた。</p>	<p>高所作業車等に検知バーを取付け、バーに力が加わるとランプの点滅と同時にブザー音が鳴り危険を知らせることで、未然に挟まれ事故や接触事故の発生を防止した。</p>				
株式会社明電舎	三河島水再生センター水処理電気設備改良工事	(2) 地域への配慮 (地元住民への配慮、周辺環境への配慮)	<p>早朝及び夜間に大型車両(100tクレーン)が通行する旨の案内を近隣住民へ配布した。</p>	<p>特殊大型車両を場内に入退場させるため、通常と違い通行時間帯が早朝・夜間にならざるを得なかった。そのため、近隣住民へ前もってお知らせをポスティングするとともに、車両入退場時には、騒音対策や通行者等の安全を確保するため、明治通りからセンター正門までの約300mを交通誘導員を複数名配置し対応した。</p>				
		(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	<p>現場事務所前にデジタルサイネージを設置し、注意事項等の見える化を行った。</p>	<p>デジタルサイネージを活用し、作業員や現場事務所に来る人に熱中症予防法、新型コロナウイルス感染症対策、また東京都で行われている節電の取組(HTT)情報など見える化した。</p>				

受注者	工事内容	区分	取組内容	PRポイント	写真①	写真②	写真③	写真④
メタウォーター株式会社	北多摩二号水再生センター反応槽機械設備再構築その2工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	抗原検査キットを用いた新型コロナウイルスの感染拡大の防止	現場内における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、こまめな換気や消毒、作業前の体温測定等に加えて、 結果がすぐわかる抗原検査キットを作業所に常備し、感染拡大防止に寄与した。				
	浅川水再生センター反応槽機械設備再構築その2工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	施工エリアの入口付近にテーブルを置き、 手のひらを冷やす冷水等の熱中症対策グッズを充実させた休憩ブースを設置	こまめに休めるよう、施工エリアの入口付近にスポーツドリンク等を入れたクーラーボックス、扇風機2台、塩飴・タブレットに加えて、飲料用ではなく手のひらを冷やすための冷水や保冷剤を常備した。手のひらの動脈脈物合(AVA)を冷やすことで、短時間で効率的に全身をクールダウンできるという科学的根拠に基づいた。				
	清瀬水再生センター汚泥焼却設備再構築工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	熱中症予防に向けた、 室内温度を上げないための遮光カーテン付のプレハブ休憩所の整備	作業エリアから現場事務所まで離れているため、休憩をこまめに取れるよう、プレハブの休憩所(約2㎡)を現地作業ヤード内に整備した。エアコンの運転と合わせて、窓の遮光カーテンを常に閉めておくことで室内温度が上がりにくくなり、いつでも涼しく快適に休憩できるようにした。				
株式会社森本組	北多摩二号水再生センター塩素接触槽耐震補強工事	(3) 作業環境の快適化 (労働者の作業環境の改善)	塩素接触槽の開口部の昇降設備箇所において、 屋根付の施錠可能な転落防止柵を設置	屋根を設置したことで、開口内に雨水が入りにくくなり、昇降時に視界が悪くなったり、手足元を滑らせたりすることによる事故発生を予防するなど、現場環境が改善された。				